

【顎変形症患者における脊椎側弯症と顎顔面骨格異常の関連性について】に対するご協力をお願い

研究代表者 第二口腔外科部長
木下 一彦

このたび、下記の医学系研究を、中部労災病院臨床研究審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を当科スタッフまでお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2017 年 4 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日までの間に、症候群を伴わない顎変形症において顎外科矯正手術を受けた方で、一連の治療中に、胸部単純 X 線写真および頭部 X 線規格写真（セファロ）の両方を撮影した方

2 研究課題名

研究課題名 顎変形症患者における脊椎側弯症と顎顔面骨格異常の関連性について

3 研究実施機関

中部ろうさい病院 歯科口腔外科

4 本研究の意義、目的、方法

顎骨の変形と、背骨の彎曲（脊椎側弯症）は、骨の成長発育と深い関係があると考えられていますが、両者が関連するかどうかはよくわかっていません。顎変形症の一連の治療の際、撮影された胸部単純 X 線写真および頭部 X 線規格写真（セファロ）を用いて分析を行い、その関連を調査することによって、顎変形症の診断と治療法の進歩に有益となると考えます。

5 協力をお願いする内容

- 1)顎変形症の診療に関する診療記録（年齢、性別、病歴（既往）、顎骨形成術内容、口腔内所見）
- 2)診断用画像（胸部単純 X 線写真および頭部 X 線規格写真（セファロ））

6 本研究の実施期間

研究倫理審査委員会承認日～2023年12月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、【氏名および診察券番号】のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの【情報（レントゲン解析データ、年齢、性別、既往、顎骨形成術内容、口腔内所見）】は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した【情報（レントゲン解析データ、年齢、性別、既往、顎骨形成術内容、口腔内所見）】を結びつける情報（連結情報）は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお、連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

- 1) 本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。
- 2) 本研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手または閲覧（他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られる）を希望される方は下記へご連絡下さい。
- 3) 本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、以下へご連絡をお願いいたします。

〒455-8530 名古屋市港区港明一丁目10番6号

中部ろうさい病院 歯科口腔外科 研究責任者

木下 一彦

TEL 052-652-5511(代) FAX 052-653-3533